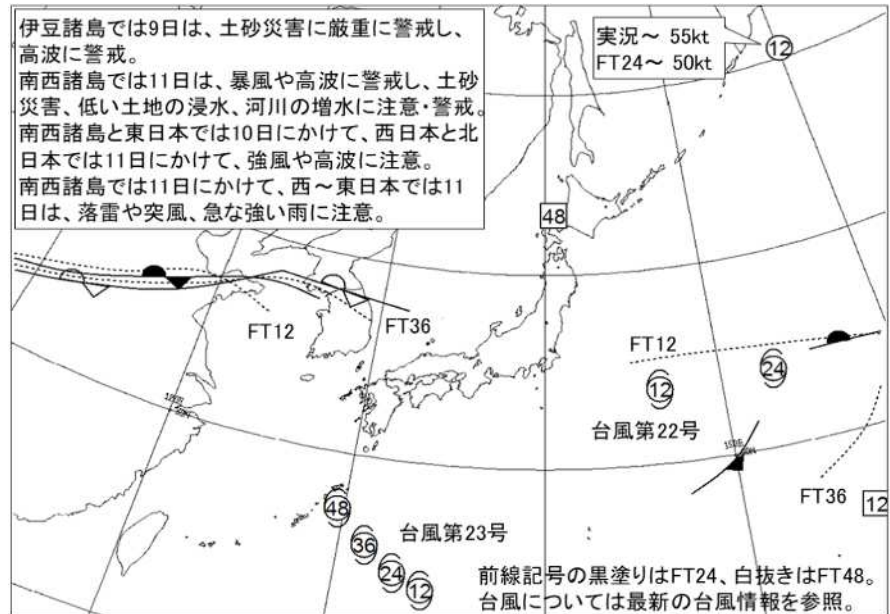


短期予報解説資料 2025年10月9日15時40分発表

気象庁

1. 実況上の着目点

- ① 非常に強い台風第22号は、日本の東にあって、東北東進。台風は東日本から遠ざかりつつあるが、東日本では大しけとなっている所や、やや強い風や強い風が吹いている所がある。
- ② 台風第23号が日本の南にあって、北北西進。
- ③ カムチャツカ半島付近には、500hPa 5340～5580mのトラフに対応する前線を伴った低気圧があって、東北東進。大陸の高気圧との間で気圧の傾きが大きくなっており、西～北日本ではやや強い風や強い風が吹き、波が高くしけとなっている所がある。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の台風は、日本の東を東進し11日朝までに温帯低気圧に変わる。これまでに降った大雨により地盤の緩んでいる所がある。また、強い風が吹き波が高く大しけとなる所がある。伊豆諸島では9日は、土砂災害に厳重に警戒し、高波に警戒。南西諸島では9日は、西～北日本では10日にかけて、強風や高波に注意。
- ② 1項②の台風は、日本の南を発達しながら北西進し、11日は南西諸島付近へ進み、進路を東よりに変える。台風周辺の下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定となり、雷を伴った非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。南西諸島では11日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒。11日にかけて、落雷や突風、急な強い雨に注意。また、風が非常に強く吹き、波が高く大しけとなる所がある。南西諸島では、10日は強風や高波に注意し、11日は暴風や高波に警戒。また、西日本太平洋側では11日は、うねりを伴った高波に注意。
- ③ 1項③の低気圧は、9日夜にはカムチャツカの東へ進み、その後動きが遅くなる。大陸の高気圧との間で気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹き、うねりを伴い波が高くしけとなる所がある。北日本では、9日は強風に、11日にかけて高波に注意。西～東日本では10日にかけて、高波に注意。
- ④ 11日は、前線が華北から日本海を通り北日本へのびる。前線に向かう2項②の台風からの下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定となり雷を伴った強い雨の降る所がある。西～東日本では11日は、落雷や突風、急な強い雨に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(18時から24時間)：多い所(100mm以上)はない。

② 波浪(明日まで)：伊豆諸島8、関東・沖縄5、その他3～4m。

③ 高潮(明日まで)：大潮の時期。全国的に、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 台風第22号と第23号に関する情報(総合情報)を各17時頃に発表予定。

量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警戒報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。